

四周年



平成29年6月17日  
ケアハウスかみれん

5年目突入です。

ケアハウスかみれんは5年目突入しました。本当に毎年言っている間、1年があつとい今年に過ぎていきます。初めて静岡県に入りまして。表紙の写真が朝霧高原の富士花鳥園での1枚です。丸4年入居者は自身の力で日常生活を健康的にと考へ押し通して使います。時に車椅子を使う事もありますが好奇心が旺盛で、絶えず事がないように見受けられます。それがかみれんご入居者の元気の源なのだと思います。昨年度どんな生活を送っていたか、これを笑みで、少しでも微笑ましく思われたら幸いです。

ごあいさつ

発行年月日  
2017年6月17日

発行人  
塚本 和徳



編集者より  
ひとこと

第4号！  
早くも第4段！  
どうぞお楽しみ  
下さい。

前年度  
活動一覽

行事実施表

7月17日  
地域盆踊り

8月21日  
調布花火大会  
(屋上にて見学)

9月21・22日  
三鷹市高齢者  
作品展・見学

12月1日  
紅葉見物  
(東京駅・皇居周辺)

1月  
初詣 (八幡大神社)

3月30日  
花見 (境)

5月25日  
バスハイク  
(富士五湖・朝霧高原)

クラブ作品

6月

くるみボタン・レイン  
ボールム

8・9月

麻バッグ・デコパ  
ージュ

12月

クラブバッグ

3月

かみすき

毎週木曜午前実施  
ノルディックウォー  
キング

月イチ開催  
風船バレー



# かみれん イベントアルバム

7月

盆踊り



今年も参加 井口院で行われた盆踊りの様子です。  
この後 踊る・食べるに分かれてそれぞれ楽しみました。

11月

紅葉見物  
(東京駅とその周辺)



今年の紅葉は東京駅+六義園だったのですが 前日の雨で園の足元が悪く 東京駅周辺となりました。(当日は良い天気でした)

8月

花火見学



9月

展示会見学

2月

節分



4月

お花見



いつもの

日常紹介



①初詣

昨年はいつものに増してイベントの多い一年でした。特に外出イベントが多くここにも紹介出来なかったソフトクリーム食べに出かけるツアーやウォーキング&スターバックスなど 増えています。今年はもっと増えそうな予感…



②ハロウィン

第 8 回

# バスハイク



日時：2017年5月25日（木）  
場所：富士五湖・朝霧高原  
富士花鳥園 他

今年のハイクは  
「山」です。  
開設以来 初の  
曇天…  
天気は大丈夫だった  
のでしょうか…

## 富士花鳥園



出発の日 朝から雨…ハイク初の雨…  
どうなるか不安でしたが 行く先々外に  
出ると 雨が降らない 施設に入ると雨が降  
るの繰り返し…施設は花満開でした。

## 朝霧高原



ちょっと残念なのは山  
梨でも静岡でも富士山  
が見えなかった事…で  
も食欲は満たされた？

職員紹介



2016年9月から 2人目の平成生まれ職員が仲間になりました。「江村 晃典」君です。入社から大分経ちましたのでご存じの方も多いと思いますが改めて自己紹介させていただきます。

「去年9月に入社しました。京都出身の江村晃典です。かみれんで働き始めて十カ月が経ちました。毎日入居者の皆様と楽しく過ごしています。これからどうぞよろしくお願致します。」

ノルディックウォーキング



かみれん活動の中で 一番の出席率を誇る活動が ノルディックウォーキングです。ウォーキングのステイックを使い 歩く全身運動。毎週木曜日午前中に行っています。皆さんの勇姿を見に来ませんか？

職員役職変更のお知らせ

開設以来相談員だった塚本が 3月1日より 施設長・相談員兼任となりました。これからは 笑って元気に暮らせる施設である事ももちろん ご家族にとっても「かみれん」だと安心だと言ってもらえるような施設を作っていきます。今後共よろしくお願致します。

編集後記

「花鳥風月」という言葉は みなさん御存じだと思いますが 私も「風流」や「季節感」のようにとらえていた。今年 嘘か誠か「花鳥風月には次が有る」なんて話を聞いた。その答えは「土」：人は歳を重ねるごとに花を愛で 鳥と話し 風を感じながら 月に涙し 土に還る：と云うのだ。実はこの話 どう調べても正解が分からない。話を聞いたその日にネットで調べてみたが どこにも正解が見当たらない。でも それで良いのかなど。その考え方が粹で美しい日本語ならではの言葉だなと納得してしまった。私は最初に働いた施設が 元芸者とそのおなじみさんが大変多い施設であった。認知症で寝たきりの方から どれだけの粹な日本語を教えてもらっただろう。今 そんな会話をしているだけで クレームの嵐になりそうな言葉の数々であるが 粹な会話には色艶がある。色艶のある言葉は人を不快にさせないと教えてくれたその当時の入居者のおかげで私は花鳥風月土のような話が大好きである。騙されたのではなく潤った気持ちである。時には優しく 時には厳しく 時には教えられない時には考えさせられる 入居者と職員との沢山の会話の中から 生きる力を共鳴し 色艶のある粹な会話があふれ どんな時でも笑いあつて過ごせるような施設が「かみれん」だと言われるようこれからも沢山会話をしたいこうと思っている。皆さまのご多幸を祈りつつ また五号で...

